

# たけやの

2023. 7. 21  
自主学童保育のたけや

2023 清津峡キャンプ 7/15(土)~7/17(月)

みんなの思いが届き、天候にも恵まれ、3日間とも川にも入れ、清津峡だからこその体験できることが出来たねと、話しています。こどもたち、お父さん、お母さん、OBOGさん、みんなで力を合わせて最高のキャンプをつくること出来ましたね！みんな、お疲れ様でした！！

## 川遊び



お父さん、お母さんやバレルトの両脇で見守っている中、浮輪にのって流れる人たち。岩に登って、そこからジャンプしてとびこむ人たち。

漁師さんのように「追いかたむ」「今だ」と、魚をとったOBさんのまわりには人が集まります。とった魚を火で焼いて「おいしい！」「もう食べたい」と言っている人たち。オタマジャクシやカエルをつかまえている人たち。石や岩を動かして「新しいダムをつくらたむ！」と叫んでいる高学年男子。「エーもう帰るの、ヤダ」。川遊びもひとしほいいね。来年もまたこようね！！

## ナイトハイク



グループごとに、自分たちのランポを持っていざ林の中へ。「キャー」という声や、戻ってくると、「こわかった？」「何人もいたよ」「キツネ」「ヒールもいたよ」...?? 「最後

アゲくれた！」「OOちゃんどこに行ってたの？」「探したんだよ！」とお互いのことを心から気にかけて、すげらいね！「途中で帰ったのにアゲもらってる、それも何で敬へタタいの？」(笑)勇気を出して「良かったね！



自分の看板が今か今かとまき授け、「0年生」と呼ばれると、我先にと柳動するみなさん。えうめん

フルーツを流してくれているお母さんの方にとんとん近づき「キター、フルーツゲット」「えうめん、とれた」という声。3年生で苦戦している仲間のために、「オーイ、のののだからとろなよ」「いたぞ」「はしをナメに入れるといいよ」...そして、「取れた！」「良かったね、キャンプに向けてみんな、また3年生同士の関係がさらに一歩深まりました。スリムなね！

キャンプファイヤー 清津峡ならではの大きな大きなキャンプファイヤー



この日のために練習してきたスターツのダンス。低学年が踊ると「かわいいー」「上手」と、あちこちから声があがり、高学年の時は、「アッー」「キレキレの踊り、さすが高学年」と

あいの手が入り、一体感にあふれていました。そして、踊り終えた人たちが各グループの位置に戻ると、「かんぱつたね」「カッコよかったです」とお互いのかんぱりをたたえ合っている姿。素直に言いあえる、とても素敵なことだと思いました。その後は、お待ちかねのズンバ。ズンバ族が登場すると、「去年より人数が増えている」「おれも入りたい」とズンバ族に入れるように全中で「ハイスカズンバズンバ〜」と懸命に踊りました。来年に向けて、力をたくわえて、またズンバ族に会おうね！



## 山登り



「あとどのくらい？」「暑い！」「いつくの？」「エスカレーターない？」「それじゃ無理になる！どこまでトアスよ」など、大い荷物

背負い、懸命に登る人たち。フーフーいいながら登り、1歩1歩登り、頂上にいる。お父さん、お母さんたちと見守り、ホッと涙を流した1年生たち。自分の荷物もありません。他の人の荷物を「持つよ」と言って、持つあけ高学年、みんな本当にかんぱつたね！！

キャンプ後の話 学校から帰ってきた。「キャンプのリュックに比べればランドセルがよゆうだよ」(2年生)。僕もランドセル程までしてないか後3見て確認したら、(2年生) たくましく成長したことを運んでいた。